

# 平成28年度 指定管理者評価シート

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 所 管 課  | こども未来部 こども家庭室 子育て・家庭支援課 |
| 評価対象期間 | 平成28年4月1日～平成29年3月31日    |

## 平成28年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

|           |   |                                |
|-----------|---|--------------------------------|
| 施設概要      | 名 称   | 川西市久代児童センター                    |
|           | 所 在 地   | 兵庫県川西市久代3丁目16番30号              |
|           | 設置目的  | 児童の健全な育成を図るため、川西市久代児童センターを設置する |
| 利 用 料 金 制 | <input checked="" type="radio"/> 非利用料金制                 ・ <input type="radio"/> 一部利用料金制                 ・ <input type="radio"/> 完全利用料金制   |                                |
| 指定管理者     | 名 称   | 社会福祉法人 川西市社会福祉協議会              |
|           | 所 在 地   | 兵庫県川西市火打1丁目1番7号                |
| 指定管理業務の内容 | ※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。<br>(1)健全な遊びを通じて児童の集団的及び個別指導に関すること。<br>(2)児童の体力増進の指導に関すること。<br>(3)子ども会、母親クラブ等の地域組織活動の育成及び助長に関すること。<br>(4)施設の使用許可、その取り消しその他施設の使用に関すること。<br>(5)施設及び付属設備の維持管理に関すること。<br>(6)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。 |                                |
| 指定期間      | 平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日  |                                |

|   |   |   |
|---|---|---|
| A | 優 | 良 |
| B | 良 | 好 |
| C | 課 | 題 |
| D | 要 | 改 |
|   | 善 | 善 |

| 施設名   | 管理者   | 社会福祉法人 川西市社会福祉協議会  | 所管課 | こども未来部 子育て・家庭支援課      | 指定管理者自己評価結果<br>【指定管理者記入欄】  | 指定管理者一次評価<br>【市所管記入欄】   | 指定管理者二次評価<br>【外部評価者記入欄】  |
|---|-------|--|-----|-----------------------|--|-------------------------|--------------------------|
| 区分  |       | 指定管理者自己評価結果<br>【指定管理者記入欄】  |     | 指定管理者一次評価<br>【市所管記入欄】 |  | 指定管理者二次評価<br>【外部評価者記入欄】 |                          |
| 評価項目及びポイント  | 評価レベル | なぜその評価に至ったか(説明)  |     | 評価レベル                 | なぜその評価に至ったか(説明)  |                         |                          |
| 1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】  | A     |  |     | A                     |  |                         | 1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】 |
| (1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成   | A     |  |     | A                     |  |                         | (1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成  |
| ①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。 | A     | 市条例の設置目的である児童の健全な育成を図るため、地域の保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校、市内県立高校に所長と担当者が訪問し、連携を密にする確認をしています。また、地域の行事"どんとまつり"や川西市主催の"子育てフェスティバル"なども幅広く最大限に有効活用し、施設の事業運営に成果を得ることができました。 |     | A                     | 設置目的に沿い、昨年も増して地域住民また市内の高校へも幅を広げられており、連携への努力がうかがわれます。また、子育てフェスティバルへの参画により施設のPRをすることにより施設利用者の掘り起しの工夫が見られる。 |                         | 意見なし                     |
| ②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。                                 | A     | 初回利用時には、川西市在住であることを確認します。その後、登録手続きとして住所、氏名、生年月日、連絡先電話番号を記入していただきます。他市の人には丁寧に説明し、規則どおりお断りしました。当日の利用時も毎回氏名と電話番号を記入していただいています。ケガや病気など緊急時は、登録時の電話等でお知らせしています。  |     | A                     | 手続き方法など誰でもわかりやすく工夫されており、今後も継続していただきたい。また、里帰りなど長期間在住されている人については柔軟に取り組み対応されている。                            |                         | 意見なし                     |
| ③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があつたか。                                      | A     | 市の広報誌、施設のホームページ、毎月のお知らせによる広報や館内掲示とともに、積極的に、職員が直接、児童やお母さん方に声掛けをしました。また、児童及びお母さんの友人にも呼びかけていただき、行事の参加増に繋げることができました。   |     | B                     | 毎月市の広報誌に行事のお知らせを掲載され、また口コミや学校、子供会など積極的に広報されています。今後は市の子育て支援施策と連携した、PRの検討が求められる。                           |                         | 意見なし                     |
| <課題>  |       | 子育て世代を対象にした効果的な広報活動の検討が必要です。   |     |                       | 子育て世代対象に施設の周知と広報活動   |                         | 意見なし                     |
| <改善内容>  |       |  |     |                       | 市と連携した新たな広報手段の採用   |                         | 意見なし                     |
| (1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況   | A     |  |     | A                     |  |                         | (1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況  |
| ①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。   | A     | 中学生・高校生が参加する"赤ちゃんとのふれあい交流会"や"お菓子作り"などの事業は、学校の協力があがり、安定した参加者を得られました。高校生を対象とした夏休みの職場体験も定着しています。また、今年度も川西市の"子育てフェスティバル"や地域の"どんとまつり"などに参加し、幅広く有効な事業展開を図りました。   |     | A                     | 中高生対象に事業を継続展開しており、幅広い世代にも対応される努力をされている。今後も新たな事業の取組が期待される。  |                         | 意見なし                     |
| ②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。                         | A     | 就園前1年の子どもを対象とした幼児教室を、週1回定期的に行うことで、活動の積み重ねができ、その後も継続的に事業に参加していただきやすい環境を整えることができました。   |     | A                     | 年齢で区別するなど、工夫をされている、徐々に効果が表れているようで、評価できる。   |                         | 意見なし                     |
| <課題>  |       | 夏休み期間中の児童の利用者増や滞在時間の増に伴い、業務量が増えるため、事故のないような体制を整える必要があります。  |     |                       | 夏季休暇期間中の児童の利用増や滞在時間増それに伴う業務量の増に対し、事故のないような体制を整える必要がある。   |                         | 意見なし                     |
| <改善内容>  |       |  |     |                       | 外部の人材も活用した施設の管理運営体制の構築   |                         | 意見なし                     |
| (1-3) 利用者の満足度   | A     |  |     | A                     |  |                         | (1-3) 利用者の満足度            |
| ①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。  | A     | 年1回、アンケート調査を実施しました。「子育てで困ったことなどを気軽に相談に乗っていただき感謝しています。」など多くの方から評価を得ました。   |     | A                     | 定期的なアンケートを実施し、利用者の声を聴き、よかった点や改善点を把握されている。  |                         | 意見なし                     |
| ②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。                               | A     | 行事内容を見直し、参加していただきやすい遊び場を確保しました。また、個々の育ちを踏まえ、どの子どもにも楽しんでもらえるように対応しました。  |     | A                     | 改善点を踏まえて、行事を見直し、参加しやすい環境づくりに努めている。   |                         | 意見なし                     |
| ③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。   | A     | 苦情に対しては、誠意をもって迅速に対応し、丁寧な説明に心掛けています。また、法令や利用のルール、平等利用等に関する事案については、必要に応じて子育て・家庭支援課に相談して対応しています。  |     | A                     | 迅速丁寧な対応を今後も心がけ、必要に応じ、対応策を考えている。  |                         | 意見なし                     |
| ④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。                            | A     | 来館時には、必ず職員から声をかけるようにしており日々の活動の中でコミュニケーションをとることで信頼関係を築き、利用者からのご意見を運営等に反映できるよう努めています。  |     | A                     | 利用者にとって親しみやすい、安心な場が確保しながら、本音を聞きやすい関係が構築できている。相談できる関係からさらに関連機関へつなげることが出来ている。                              |                         | 意見なし                     |
| ⑤サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。                          | A     | 事業内容が参加者にとって満足度のいくものだったかどうかを、常に意識し、実施した事業内容の指導案を回覧するなどを行っています。その際、反省欄は必ず記入し、次のサービス向上に生かすよう全職員で共有しています。   |     | B                     | 回覧により、サービス向上のための情報共有がされている。具体的な対応策への展開が期待される。  |                         | 意見なし                     |
| <課題>  |       | 子育て環境の変化や利用者のニーズ把握に対応できるよう日頃からのコミュニケーションをいっそう大切にしていける必要があります。  |     |                       | アンケートによる課題の掘り起し、利用者のニーズの把握   |                         | 意見なし                     |
| <改善内容>  |       | 引き続きアンケートの実施や利用者個々への声掛けを行います。  |     |                       | アンケート内容を見直し、多角的な視点で新たな課題を見つける  |                         | 意見なし                     |

|   |       |
|---|-------|
| A | 優 良   |
| B | 良 好   |
| C | 課 題 含 |
| D | 要 改 善 |

| 施設名  | 川西市久代児童センター               | 管理者   | 社会福祉法人 川西市社会福祉協議会     | 所管課  | こども未来部 子育て・家庭支援課         |
|--|---------------------------|---|-----------------------|--|--------------------------|
| 区 分  | 指定管理者自己評価結果<br>【指定管理者記入欄】 |   | 指定管理者一次評価<br>【市所管記入欄】 |  | 指定管理者二次評価<br>【外部評価者記入欄】  |
| 評価項目及びポイント   | 評価レベル                     | なぜその評価に至ったか(説明)   | 評価レベル                 | なぜその評価に至ったか(説明)                                      |                          |
| 2 効率性の向上に関する取組み<br>【効率性】   | A                         |   | A                     |  | 2 効率性の向上に関する取組み<br>【効率性】 |
| (2-1) 経費の節減  | A                         |   | A                     |  | (2-1) 経費の節減              |
| ① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。                  | A                         | 年間を通じて高額となる水道光熱費については、職員の意識と努力で経費節減が可能であると考え、職員各自が意識して利用者がいない時間、部屋の照明や空調のスイッチを切るよう、継続して周知徹底しています。また、利用者に対しても趣旨を説明したうえで、協力依頼をしました。 | A                     | 職員全体で意識づけて取り組んでいることで、一定の光熱水費の削減につながっており、最大限の努力をしている。 | 意見なし                     |
| ② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。 | A                         | 常に経費節減を意識して、高額な修理や物品購入時は、必ず、複数業者の見積りを取っています。また、低額な各種備品購入では、近隣のホームセンターなど安価で購入できる商店を利用し、「少しでも経費節減を」を意識して購入しています。                    | A                     | 常にコスト意識を持ち、量販店で安価に商品を購入している。                         | 意見なし                     |
| < 課 題 >  |                           | 建物は30年以上が経過しており、老朽化と劣化が進行し、今後は修繕費の増加が見込まれます。  |                       | 経年劣化による修繕費の増加  | 意見なし                     |
| <改善内容>   |                           | 修繕費の経費節減として、早期発見早期修理が望ましく、高額な経費が必要となる前に修繕していくことが必要です。市と協議しながら計画的に取り組んでいきます。   |                       | 公共施設の個別背作計画に組み込み、適切な時期に改修                            | 意見なし                     |
| (2-2) 収入の増加  | 評価なし                      |   | 評価なし                  |  | (2-2) 収入の増加              |
| ① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。                                  |                           |   |                       |  |                          |
| ② 収入の増加など取り組みの効果は得られたか。  |                           |   |                       |  |                          |
| < 課 題 >  |                           |   |                       |  |                          |
| <改善内容>   |                           |   |                       |  |                          |
| (2-3) 収支のバランスなど  | 評価なし                      |   | 評価なし                  |  | (2-3) 収支のバランスなど          |
| ① 収支のバランスは、適切であったか。  |                           |   |                       |  |                          |
| ② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。                                 |                           |   |                       |  |                          |
| ③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。   |                           |   |                       |  |                          |
| < 課 題 >  |                           |   |                       |  |                          |
| <改善内容>   |                           |   |                       |  |                          |

|   |       |
|---|-------|
| A | 優 良   |
| B | 良 好   |
| C | 課 題 含 |
| D | 要 改 善 |

| 施設名   | 川西市久代児童センター | 管理者  | 社会福祉法人 川西市社会福祉協議会 | 所管課  | こども未来部 子育て・家庭支援課      | 評価項目及びポイント | 評価レベル | なぜその評価に至ったか(説明)         | 評価レベル | なぜその評価に至ったか(説明)                       | 指定管理者二次評価<br>【外部評価者記入欄】 |
|---|-------------|--|-------------------|--|-----------------------|------------|-------|-------------------------|-------|---------------------------------------|-------------------------|
| 区 分   |             | 指定管理者自己評価結果<br>【指定管理者記入欄】  |                   |  | 指定管理者一次評価<br>【市所管記入欄】 |            |       | 指定管理者二次評価<br>【外部評価者記入欄】 |       |                                       |                         |
| 3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】                        |             | A  |                   |  |                       | A          |       |                         |       | 3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】        |                         |
| (3-1) 管理運営の実施状況                                       |             | A  |                   |  |                       | A          |       |                         |       | (3-1) 管理運営の実施状況                       |                         |
| ①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。                | A           | 人員は配置されていますが、利用が多人数の場合は、事故防止や安全面を考え、必要に応じて、老人福祉センターの職員との連携を図っています。   | A                 | 児童センターと老人福祉センターとの一体的な運用により、効率的な管理運営が達成されている。       |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| ②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。                   | A           | 研修は、『発達障害のある子どもと保護者への支援』、『愛着理解のための養育者・保護者の自己理解』、『きちんと知りたい発達凸凹』のテーマに参加しました。復命書をもとに、今後の事業に役立てるため、話し合いや知識・情報の共有に努めました。                              | B                 | 職員のスキルを高めるために、児童の健全育成に関する多様な研修への参加の機会を確保する必要があります。 |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| ③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。                    | A           | 乳幼児・児童の利用する施設として、経費節減では、夏と冬の空調の温度管理には細心の注意を払いました。特に夏場においては、熱中症予防の観点から、水分補給のため水筒持参を館内掲示し、口頭による注意喚起もしました。  | A                 | 空調の温度設定に気を配り経費節減をする傍ら、利用者への体調管理などのきめ細やかなサービスに努めた。  |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| ④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。 | A           | 職員からの提案をセンターとして検討し、隣接している久代デイサービスセンターと共催し、2階遊戯室でデュオのコンサート、タッチセラピーを実施し、老人・児童・乳幼児の世代間交流を図ることができました。  | A                 | 施設での良好な管理運営を主眼に置き、各世代全体が楽しめる企画が出来ている。              |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| <課題>  |             | 児童センター3名では、各種事業を円滑に運営するには、困難(病欠・年休・夏休などにより)な場合があります。同一事務所内の老人福祉センター職員が業務を調整して、児童センターの支援を行うことが必要であると考えています。                                       |                   | 人員に余裕がない状態では、事業の見直しも考えられるが、それに伴い利用者の人数が減ることが懸念される。 |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| <改善内容>  |             | 業務を調整して、児童センターの職員と老人福祉センターの職員が行う相互協力を継続して行います。   |                   | 児童センターと老人福祉センターの職員の相互協力以外に、ボランティアや地元の人を巻き込んで運営する。  |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| (3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など                 |             | A  |                   |  |                       | A          |       |                         |       | (3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など |                         |
| ①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。        | A           | 初回利用時、川西市に住所を有しているかを確認の上、登録していただきます。閉館時間に関しては、放送を通じて周知徹底しています。また、平成28年4月に社会福祉施設管理業務適正実施プロジェクトチームを設置し、法令に則った適切な事業運営ができるようチェック体制を整備しました。           | A                 | 初回登録、閉館・閉館時間など、適正に管理し、法令に即したチェック体制が確立している。         |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| ②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。                       | A           | 個人情報に関しては、施設できる金庫やロッカーに保管し、外部への持ち出しを一切禁止する事を職員に徹底しています。利用者には、写真撮影の際、事前に了解を得たり、拒否される方の写真は“おたより”など広報紙への掲載をいたしません。                                  | A                 | 利用者に配慮し、個人情報の保護に努めている。                             |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| ③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。                          | A           | 乳幼児の場合は、保護者に目を離さないよう依頼し、児童は、乱暴な行動やケンカ(職員が仲裁に入る時もある)など起こさないよう見守りや声掛けをしています。地域防犯ボランティアさんが定期的に見回りに来ていただいています。また、小学校の先生が抜き打ちに来所されるなど、情報の共有や連携をしています。 | A                 | 常日頃から見回りなどの安全対策に取り組んでおり、問題は特にはない。                  |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| ④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。                             | A           | 終業後や夜間、休日の防犯は総合警備のセコムと契約しています。火災の避難、誘導、通報、消火訓練は、年2回実施しています。消防署職員立会いのもと、必要な指導を適時受けました。年1回、県警のホットライン通報テストを実施しています。                                 | A                 | 一年を通して、安全対策に取り組んでおり、危機管理体制は整っている。                  |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| ⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。   | A           | 事故発生時(ケガの場合、体調不良の場合)、非常災害時対応のマニュアルどおりの対応をしています。また、ヒヤリハットのノートも作成し全員で共有しています。設備に関しては、毎月1回職員が点検しています。   | A                 | 毎月の設備点検、ヒヤリハットノートなど、職員が自ら参加し非常時の対応について共通理解が出来ている。  |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| ⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。                   | A           | 児童のおもちゃの貸し出し(ゲームなど約87種類)、卓球台(3台)、ビリヤード台(1台)の使用は、時間設定しています。時間が過ぎると、次の児童と交代し平等に利用できるよう配慮しています。   | A                 | 利用者目線に立ち、ルールを決め、ルールに従い実践している。                      |                       | 意見なし       |       |                         |       |                                       |                         |
| ⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。                  |             |  |                   |  |                       |            |       |                         |       |                                       |                         |
| <課題>  |             |  |                   |  |                       |            |       |                         |       |                                       |                         |
| <改善内容>  |             |  |                   |  |                       |            |       |                         |       |                                       |                         |

|   |       |
|---|-------|
| A | 優 良   |
| B | 良 好   |
| C | 課 題 含 |
| D | 要 改 善 |

|                     |   |                 |   |       |  |  |
|---------------------|---|-----------------|---|-------|--|--|
| 施設名                 | 川西市久代児童センター   | 管理者             | 社会福祉法人 川西市社会福祉協議会   | 所管課   | こども未来部 子育て・家庭支援課   |  |
| 区分                  | 指定管理者自己評価結果<br>【指定管理者記入欄】   |                 | 指定管理者一次評価<br>【市所管記入欄】   |       | 指定管理者二次評価<br>【外部評価者記入欄】  |  |
| 評価項目及びポイント          | 評価レベル   | なぜその評価に至ったか(説明) |   | 評価レベル | なぜその評価に至ったか(説明)  |  |
| 総合評価                | 指定管理者自己評価結果<br>【指定管理者記入欄】   |                 | 指定管理者一次評価<br>【市所管記入欄】   |       | 指定管理者二次評価<br>【外部評価者記入欄】  |  |
| 評価ランク               | A   |                 |   | A     |  |  |
| ・評価できる内容            | 乳幼児の事業として、幼児クラブが14事業、母親クラブ2事業、図書室とプレイルームの解放、小学生の事業として15事業、中学生は4事業、その他、遊戯室や運動指導室の解放、おもちゃの貸し出しなど、多種多様な事業を展開し、大きな事故、トラブルなく実施することができました。<br>また、保健センターの地区担当保健師によるミニ講座を実施し、乳幼児健診等利用者が安心して受診していただける関係づくりをしました。 |                 | 児童館の運営として、各年代での事業が数多く展開できた。また、地区担当保健師とも連携し乳幼児期の利用者に安心感を与えることが出来た。 |       | 就園前から小学生までプログラムが充実しており、また、イベントも数多く実施されており、親子で参加させていただけるなど大変助かっている。 |  |
| ・平成28年度に改善した内容      | 平日に実施していた『パパと遊ぼう』を参加しやすいように土曜日に開催しました。<br>また、年長児のみを対象としたグループ活動を実施し、小学校へ向けての丁寧な対応ができるようにしました。<br>また、法人として、内部監査を実施し、未収金等の確認、小口現金の管理方法等のチェック、兵庫県チェックリストの確認、市の実地指導の確認を行いました。                                |                 | 年長児への配慮や父親参加を促す日程変更など、利用者目線に立ち改善できたことは大きい。                        |       | 意見なし   |  |
| ・平成28年度に改善したことによる効果 | 父親に子育てに参加してもらいやすい環境設定をすることで、父親だけでなく、家族で過ごしていただける機会を提供することができました。<br>その後も父親が積極的に子育てに参加してくれるようになったとの利用者からの声がありました。<br>内部監査を行い、職員の法令遵守の意識を高め、会計担当職員の能力向上を図ることができました。                                       |                 | 父親の子育てへの参加の意欲が増進し、健全育成の一助になった。                                    |       | 意見なし   |  |
| ・問題があり次年度以降改善が必要な点  | マタニティ&産後ママ交流会は、子どもの昼寝の時間と重なっているため参加者が少ない状況でした。  |                 | より良い運営に向け、アンケート調査や聞き取りにより、利用者の動向を模索する。                            |       | 意見なし   |  |
| ・改善方法とその時期          | 次年度のマタニティ&産後ママ交流会は、試験的に時間変更をして、参加人数の増加につなげます。   |                 | 市の様々な機関と連携を取り、参加者増につなげる。時期については、今年度からでも適宜行う。                      |       | 意見なし   |  |

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただけますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。